



## 会長あいさつ

曾於市農業委員会 会長 石 脇 勝

農業委員会だよりの発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。  
市民の皆様方には、かねてから農業委員会の業務に対しまして、  
格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新燃岳の噴火や東日本大震災そして福島原発事故など未曾有の大災害が発生し、大変な一年でした。東日本大震災では約1万6千人の方々が亡くなられ、行方不明者がいまだ3,000人程であります。被災された方々に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。今年も、災害もなく、平穏で平和な年になりますよう願っています。

農業委員会は、昨年7月に農業委員選挙が実施され、公選委員30名と各種団体と議会推薦委員6名の合計36名が誕生し、それぞれ農業委員として活動を展開しております。特に女性農業委員は6名となり、鹿児島県内で女性農業委員が南九州市と共に一番多い農業委員会となり、女性農業委員の活躍が期待されております。

さて、農業を取り巻く状況は原発事故による農産物の風評被害をはじめ、TPP問題や高齢化の進行に伴う担い手の育成確保など厳しい状況にあります。

曾於市農業委員会では、昨年11月に曾於市長へ 1. TPP問題について 2. 軽油引取税の免税制度について 3. 葉たばこ廃作農家及び畑作農家支援について 4. シルバー人材センターの支援について 5. 畜産農家の支援について 6. 有害鳥獣対策について 7. 食育の推進と地産地消について 8. 後継者対策についての8項目にわたり提言いたしました。

特にTPP問題ですが、政府はTPP事前協議に参加すると決定しましたが、関税措置の例外を認めないTPP交渉に参加すれば、農林水産業を始め、関連産業を含む地域経済が崩壊することは必至であります。TPPについては、鹿児島県農業会議等関連機関と共に足並みを揃え、曾於市及び日本農業を守るため反対して参ります。また、認定農業者と語る会を実施し、農業経営の確立や経営改善の課題等については、国や県に政策提言をさせていただきました。

曾於市農業委員会では、市民のために基幹産業である農業を守り、発展させるために、農地の確保・有効利用・担い手農家への農地の集積・遊休地対策や各種申請に対しましては、公平迅速に対応するように取り組んで参ります。地域農業が振興し、曾於市が発展するよう農業委員・職員一丸となり積極的な活動を推進して参りますので、今後共ご指導・ご協力をよろしく願います。